

☆ 1. 2年 保護者会

2月15日(木)は、1, 2学年の保護者会がありました。今までの寒さがウソのように、この日は天候も良く、暖かな1日となりました。

1年生は5校時に各学級で保護者を交え、「百人一首大会」が行われました。担任が読み札を読むと、各クラスで札を元気に取る声が響きました。和気あいあいとした雰囲気の中、生徒と保護者の方々の温かな交流が見られました。その後は会場を武道場に移し、保護者の方々に、来年度の行事の話や各担当職員の話聞いていただきました。



2年生は「進路ガイダンス」を行いました。来年度、受験生になるにあたり、担当の職員が受験の仕組みや心構えを話しました。続いて、現在高校に通っている3名の先輩方から、それぞれの高校の話をお聞きしました。どの生徒も緊張感を持って真剣に耳を傾けていました。

1, 2年ともに、たくさんの保護者の皆様に足を運んでいただきました。本当にありがとうございました。

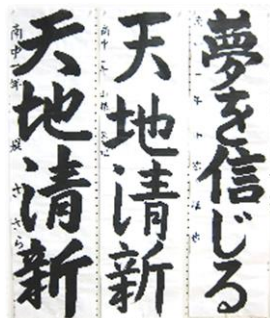


☆ 玉村町子ども芸術展

2月16日(金)から3日間にわたり、玉村町文化センターにおいて、「子ども芸術展」が開催されました。幼稚園や保育園、小学校や中学校の園児・児童・生徒の作品がたくさん展示されていました。

南中からは、書き初めや美術の時間に制作した作品や美術部の作品など様々な力作が展示されていました。どの作品も授業や部活動の時間に熱心に取り組んでいた成果が表れていました。中学生の力量は高く、見に来ていた保護者や地域の方々も、驚いたり感心したりしていました。

玉村町子どもたちが作った力作を見ることができ、たいへん有意義な時間を過ごすことができました。ぜひ、これからもずっと続いてほしい町の行事の一つであると思えました。

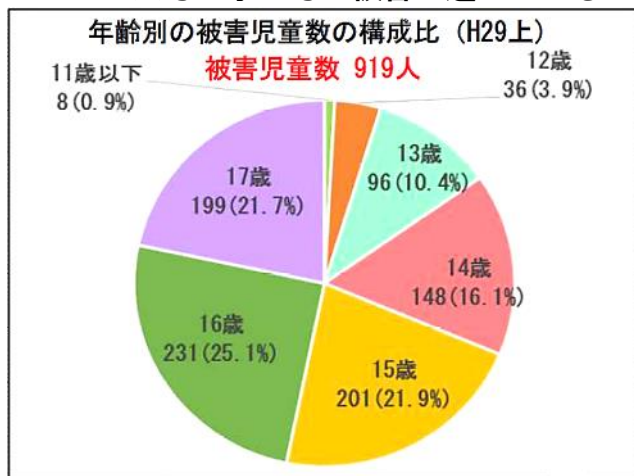


☆新聞の記事から

上毛新聞の「U22 私の声」というコーナーで、「特集 どう使うSNS」という企画があり、今までにかなり多くの中高生の意見が載せられています。ずいぶん前から断続的にですが今でも続いていて、重要な問題として考えられていることが分かります。

私も気になって読んでいたのですが、中学生は自分の考えをしっかりと持って、「立派だなあ」と感心します。また、SNSの危険性を訴えているものも多く、若い人たちが重大な問題として真剣に考えていることがよく分かります。

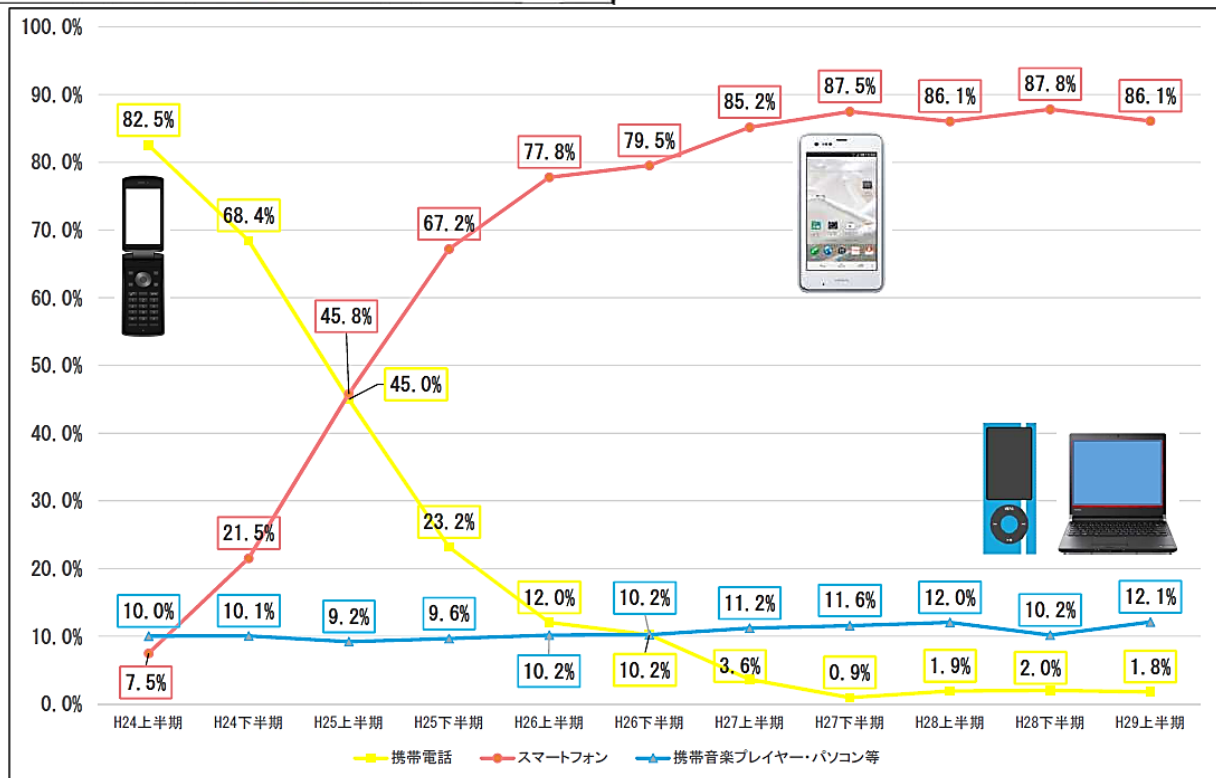
また、2月19日(月)の上毛新聞には「安全、上手に子どものスマホ 問われる使う力」という記事がありました。その中に、インターネットのコミュニティサイト(ブログ、SNS、チャットなど)を利用して児童買春などの犯罪に巻き込まれた群馬県内の18歳未満の子どもが、昨年は前年を下回ったものの、4年連続で過去最多を更新しており、2016年は、1736人も子どもが被害に遭っているという内容がありました。



以下に示す図は、警察庁の「サイバー対策プロジェクト」が発表したインターネットコミュニティサイトが関係する平成29年度上半期の犯罪数のデータです。

左の図は被害者の年齢の構成ですが、11歳以下から15歳までの割合を合計すると、53.2%となり、**小中学生が犯罪に巻き込まれる割合は半分以上**になっていることが分かります。

489名もの小中学生が犯罪に巻き込まれています。



上の図は、被害児童のコミュニティサイトへのアクセス手段の推移です。**被害に遭った児童生徒の約9割がスマホを利用しています。**使う側が気を付けて使えば便利な道具になるものだと思いますが、少しでも事件に巻き込まれないように、本校では「南中としてのスマホ等に関する提言」をお願いしているところです。